

小田地区(南)ハザードマップ

(危険箇所地図)

情報確定日：令和元年10月
作成日：令和元年12月

避難場所解説

【指定避難所】
自宅が被災して帰宅できない場合に、一定の期間、避難生活を送ることを目的とした公共施設等です。

小田地区の避難場所として利用できる公共施設

施設名称	災害種別ごとの安全性		
	土砂災害・洪水	地震	津波
小田地区山村基幹集落センター 避	○	○	—
小田地区社会体育施設運動場 避	○	○	—

災害などが起きた時の通報

・火事・救急の通報は（消防）	119
・事件・事故の通報は（警察）	110
・海上での事故の通報は（海上保安庁）	118
・安否の確認は（NTT災害伝言ダイヤルサービス）	171
・停電等の問い合わせは（中国電力鳥取営業所）	0120-465-210
・災害発生のおそれがある異常現象の通報は（岩美町役場総務課）	0857-73-1411

災害時の対応（自主防災）

我が家の一時避難所			
災害時の緊急連絡先			
安否確認	名前	電話	会社・学校
家族			
要配慮者等			
わが地区の要配慮者施設			

浸水想定区域の見方

浸水の目安

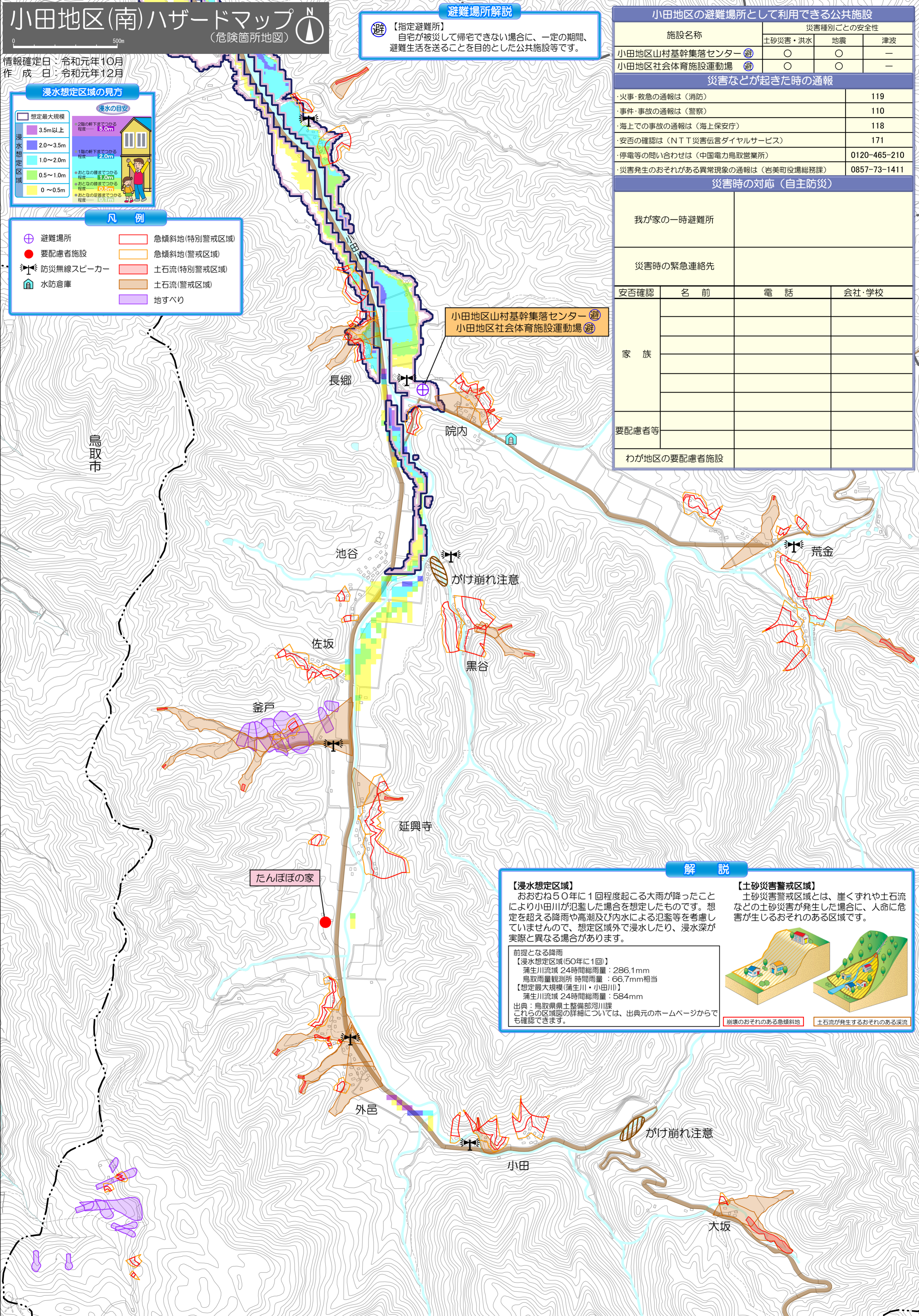
想定最大規模

- 3.5m以上
- 2.0~3.5m
- 1.0~2.0m
- 0.5~1.0m
- 0~0.5m

2階の軒下までつかる程度……5.0m
1階の軒下までつかる程度……2.0m
おとこの腰までつかる程度……1.0m
おとこの膝までつかる程度……0.5m
おとこの足首までつかる程度……0.1m

凡例

- 避難場所
- 要配慮者施設
- 防災無線スピーカー
- 水防倉庫
- 急傾斜地(特別警戒区域)
- 急傾斜地(警戒区域)
- 土石流(特別警戒区域)
- 土石流(警戒区域)
- 地すべり



解説

【浸水想定区域】
おおむね50年に1回程度起こる大雨が降ったことにより小田川が氾濫した場合を想定したものです。想定を超える降雨や高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、想定区域外で浸水したり、浸水深が実際と異なる場合があります。

前提となる降雨
【浸水想定区域(50年に1回)】
蒲生川流域 24時間総雨量：286.1mm
鳥取雨量観測所 時間雨量：66.7mm相当
【想定最大規模(蒲生川・小田川)】
蒲生川流域 24時間総雨量：584mm
出典：鳥取県土整備部河川課
これらの区域図の詳細については、出典元のホームページからでも確認できます。

【土砂災害警戒区域】
土砂災害警戒区域とは、崖くずれや土石流などの土砂災害が発生した場合に、人命に危害が生じるおそれのある区域です。

